

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
ちりめん細工の会

Page 4-11

かけはし一般質問
12月定例会議

Page 12-14

審議案件と結果
10月随時会議
12月定例会議

Page 14

大河ドラマ「千姫」誘致の
会に参加

Page 15

議員定数調査特別委員会
喜見山議員の逝去について

Page 16

常総橋百景「第九景 常総橋」

No.240

発行月：2023年2月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会×ちりめん細工の会

市議会(以下、議会)

「ちりめん細工の会」とはどのような団体でしょうか。

ちりめん細工の会(以下、ちりめん会)

毎月1回、坂手町の染色会館に集まり、吊るし雛などの作品を作っています。地域の裁縫が好きな5人で集まって、皆で楽しみながら、吊るし雛だけでなくマスクやフクロウの置物など何でも作っています。初めは先生に習って色々作っていたのですが、今は自分たちだけで知恵を出し合って活動しています。私たちの作品は年に一度、あすなろの里で開かれる「あすなろのひな祭り」に飾らせてもらっています。東日本大震災のときに、岩手県釜石市の幼稚園のひな人形が津波で流されてしまったというのを聞いて、吊るし雛を送ったこともあります。作ったものを誰かにあげて、それで喜んでもらえるのは、とても張り合いがあります。

議会

吊るし雛作りのやりがいや楽しさについて教えてください。

ちりめん会

気心の知れたメンバーでワイワイやっているのがとても楽しいですね。誰かが新しいものに挑戦すればやり方を聞いたり、わからないところがあれば教え合ったり、試行錯誤を繰り返して作品が仕上がるととても嬉しいです。

できたものを友達にあげると喜ばれ「作り方を教えて」と言われることもあり、それで

教えると、今度はその人が先生になって他の人に教えてあげたりする、そうしたながら新たな人が繋がっていくのも楽しさの一つです。

作品の中で、フクロウは、「福が来る」と言って喜ばれ、とても人気です。また、苦難猿は「苦難が去る」ということで、一時期は多くの方から欲しいと言われ、たくさん作りました。私たちの作品に対しそういう声を聞くと、作り甲斐もありますしやりがいがあります。

議会

今後の活動についてどんなことをやってみたいですか。

ちりめん会

大きいものを作ってみたいと思っています。人形とか、とても難しいと思いますが、いつかは挑戦してみたいです。あとは、吊るし雛はたくさんさんの願いや想いを込めて作っているの、人通りの多い所に飾ってたくさんの方に見てもらいたいです。



ちりめん細工の会で作った
上段：フクロウと苦難猿 下段：七宝毬



議会

吊るし雛を始めたい方や、鑑賞する皆さんにメッセージをお願いします。

ちりめん会

始めたいという方は大歓迎です。道具や生地を揃えなくてはできないと思って諦めてしまう人もいましたが、そんなことはありません。「ちりめん細工の会」という名前ですが、ちりめんのみならず、自宅で眠っている着なくなってしまう着物の生地等を代用して、色々なものを作っています。今あるもので始めることもできるので、興味がある方

はぜひやってみてほしいと思います。いつでも大歓迎です。

今年もあすなろの里で2月4日(土)から3月5日(日)まで吊るし雛を展示しています。今は入園料も無料ですので、ぜひ気軽に見に来てください。

(令和4年10月インタビュー)



※写真撮影時のみマスクを外していただきました。市民インタビューは感染対策を徹底して行っております。

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員
近年、連続して園児がバスの中に置き去りにされ熱中症で亡くなる事故が発生した。当市の公立私立幼稚園・保育園の置き去り防止対策について問う。

福祉部長
園児が欠席した場合は当日朝8時25分までに保護者から連絡をいただき、バスに添乗した教諭は欠席情報を記入した「バス乗車チェック表」を確認しながら園児をバスに乗せる。

園に到着後は、添乗した教諭が前の座席から順番に降りるよう、園児一人ひとりに声を掛けながら乗車園児全員が降りるのを確認して、教室に誘導する。

園児降車後、添乗した教諭がバスの中に園児が取り残されていないか座席の下等も含め車内を確認し、さらに、新型コロナウイルス対策として降車後車内のすべての座席の消毒作業を行う際に運転手が車内の確認を行うことで、二重確認体制を取っている。なお、降園時と同様の対策を実施している。また私立幼稚園・保育園において



飯島 忠 議員

答 弁 質問

園バス安全装置の義務化について
情報収集しながら安全対策を講じていく



飯島議員の
質問動画



も同様な体制が出来るよう指導した。

議員
関係府省会議にて、職員が見落とさないようブザーなどの安全装置の設置を義務付ける方針が示されたが当市の対応について問う。

福祉部長
国では、安全装置の整備義務化を進めており、令和5年4月から義務付けられ、1年間の経過措置を設けると示されているが、支援をはじめとした具体的な内容は明らかにされていない。こちらについては、情報が届き次第、各施設に通知し、早期の整備に向け、安全対策の実施に働きかけていく。同時に置き去りが起きないように園児の安全管理を徹底する体制づくりについて、施設的全職員及び関係者が危機意識を高く持つて取り組むよう指導していく。

議員
安全装置の義務化については、令和5年4月とのことだが、よく内容を検討し早期に装着できるようにお願いする。



石塚 剛 議員

質問
子育て支援の現状と
今後について

答弁
伴走型相談支援の拡充と
わかりやすい施策展開に努める

石塚議員の
質問動画



議員

当市の産前産後の子育て相談体制の現状について伺う。

保健衛生部長

保健師面談やテレビ電話で面談、継続的支援が必要な場合、訪問や電話面談等こまめに対応している。産後うつ傾向のある方は、早めの新生児訪問、その他の産婦も全戸訪問を実施、産後の体調や子育て不安、乳幼児の生育など相談を行っている。また、子どもの成長に合わせて個別相談や、のびのび子育て相談で、保護者にも継続的な関わりができています。更に子育て支援アプリでサポートを行っている。

議員

0歳から2歳児子育て世代への支援の現状を伺う。

福祉部長

出産祝金事業、多子世帯子育て応援金事業を実施している。さらには、認可保育所等を利用する保護者に対し、2人目以降の3歳未満児の保育料を助成する多子世帯利用者負担額助成事業を行っている。

議員

0歳から2歳児子育て世代は、国の支援も手薄であり、おむつ、ミルクの購入補助の新たな支援を提案するが、市の考えを伺う。

福祉部長

県内でおむつクーポンやおむつ代の補助を行う自治体もあり、議員提案の循環型支援を参考に子育て支援策の検討を進めていく。

議員

子育て支援について市長に伺う。

市長

子育て支援は大変重要であり、地域や行政、更には国の抜本的なサポートの必要性が急務であると感じている。当市の子育て支援は、伴走型の切れ目のないのが市の特徴でもある。今後Aーまちづくりやアグリサイエンスバレーで若い世代の人口流入も考え、更なる支援拡充や当市の子育て支援策を分かりやすく訴えられるような施策展開にしていきたい。

議員

子育て支援拡充とライフステージに合わせた伴走型相談支援体制の充実をお願いする。



倉持 守 議員

質問
中心市街地活性化の
展望について

答弁
既存商店への補助金、中心市街地等の問題について積極的に検討していく

倉持議員の
質問動画



議員

水海道中心市街地は空き店舗が多くなり、平成31年に調査したコンサルタントの報告書によると、水海道公民館の機能を市民の広場に隣接した空き店舗に持たせ、旧報徳銀行など文化財建造物の活用を図るとあったがその後の進展は。

産業振興部長

市民の広場について、その後市民団体等に意向調査をした結果、半数以上がイベントの利用を望んでいることから、市民の広場と旧報徳銀行の一体的活用に取り組みたいと考えている。

議員

市民の広場を、イベントを中心として活用するのであれば屋根付きの建物が必要と考えるが市の考えは。

産業振興部長

あらゆる可能性を視野に入れ検討する。

議員

既存の商店の事業継承につながる施策を伺う。
商工会と連携し補助金活用を進

議員

どのような補助金を想定しているか。市単独の補助に国や県の補助金も併せて活用をお願いする。

商工観光課長

空き店舗活用事業補助金、中心市街地活性化補助金、創業新事業展開支援補助金がある。中心市街地活性化補助金については今よりも幅広く活用できるようにあらゆる可能性を探り活用したいと考えている。

議員

水海道公民館、武道館及び水海道中心市街地の駐車場確保について伺う。

教育部長

水海道公民館については、官民連携の方策を含め安全性の確保を優先して検討する。

議員

駐車場は買い物客や駅利用者には必要である。

産業振興部長

今後コミュニティバスのほか、公共施設の活用状況を踏まえて総合的に検討したい。



吉原 晴照 議員

質問

既存工業団地の現状と新たな産業用地の開発計画について

答弁

現在は空きや撤退がなく、新たな産業用地の開発は既存工業団地周辺で検討

吉原議員の質問動画



議員

既存の工業団地は4か所あるが、空きや撤退等はないか。

産業振興部長

現在、既存工業団地には、空きや撤退はなく、今後も各工業団地の連絡協議会と連絡を取り合って状況を確認していく。

議員

新たな産業用地は、既存の工業団地周辺で進める計画とのことだが、具体的にはアクセスやインフラ整備等を考えての計画か。

地域拠点整備課長

都市計画マスタープランにおいて、鬼怒川ふれあい道路沿線の既存工業団地周辺で産業の集積を図ることが示されている。また、アクセス性、周辺インフラの整備状況、現状の土地利用等を調査・検討した結果、既存の工業団地周辺地区が、最も効果的で適しているとの結論に至った。

議員

新たな産業用地整備の考え方は、今年度の予算の中で、予算書に産業団地事業化推進業務委託費として2千万円が記載されているが、業

務委託の調査結果から得た結果か。

地域拠点整備課長

市の財政負担の削減が期待でき、なおかつ、企業立地のニーズを逃がさない早期整備を図るために、民間活力を最大限活用したい考えであるが、地権者や事業者の意向を踏まえた手法であることが重要である。そのために、業務委託の内容は、対象区域の権利調査及び地権者の意向調査、図面等の資料作成や諸調査等となっている。

議員

企業誘致の候補は、今後期待できる半導体やロボット等の関連企業、また、通信として5Gの次世代に関連した企業への誘致を要望したいが、市長の所見を伺う。

市長

圏央道や常磐道から近いことから、多くの企業から立地したいとのニーズが寄せられている。これからの子どもたちが働きたいと思う新しい産業の企業誘致を目指し、トップセールスで頑張っていく考えである。



草間 典夫 議員

質問

防災対策：…今後の市の防災活動と人材の育成は

答弁

地域の防災力を生かした活動と地域の防災を担うリーダー育成に取り組む

草間議員の質問動画



議員

防災対策において、今後重点事項として対応すべき市の課題はどのようなことか伺う。

防災危機管理課長

マイタイムラインを生かした地域が主体となって作成するコミュニティタイムラインの構築、自主防災活動や福祉支援活動を行う方たちと連携した防災対策の強化、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難の受け入れや在宅避難者、車中避難者への支援が課題である。

議員

地域の実状に応じた環境整備として、新たな防災拠点の設置などについての考えはないのか伺う。

防災危機管理課長

車で避難できる場所として、海道路総合体育館など、指定避難所の駐車場を想定している。また、新型コロナウイルス感染症患者の避難の必要性も踏まえ、民間企業の駐車場等の確保も考えている。

議員

防災への意識啓発として、マンネリ化を解消し緊張感の持続でき

る防災訓練や防災教育等の取り組みで考えていることを伺う。

市長公室長

体で覚えることをテーマに、災害対策に必要な動きを取り入れた防災スポーツのような高齢者から子どもまで多くの方々に楽しみながら学ぶことができるものを発案していくとともに、地域の防災力を生かした活動も行っていく。

議員

災害時に率先して行動できる若手人材の育成として、中学生を対象とした防災リーダー育成についての考えを伺う。

教育部長

自分の生命を守り、周囲の生命にも注意を向けられる人材を育成することは、各家庭における防災意識や地域の防災力の向上につながる。防災リーダーとして未来の市を担う中学生の防災教育や研修に積極的に取り組んでいく。

議員

若手人材のすそ野を広げる上で、中学生を対象とした計画性のある防災リーダー育成研修の実施を期待する。



柳井 真吾 議員

質問 インクルーシブ（包容する）教育の推進について

答弁 今後もインクルーシブ教育の充実を目指して取り組んでいく

柳井議員の質問動画



議員 当市におけるインクルーシブ教育の現状について伺う。

教育長

児童生徒一人ひとりの発達の特性に合わせた合理的配慮の例として、まず、その子に対して短期、中期、長期、どんな目標を目指すのかという個別の教育支援計画を作成している。その中には保護者の願い等も含め、十分な話し合いの上、実施している。また、ハード的には、設備の改修、例えば、階段の昇降機を設置したり、あるいはバリアフリーで段差をなくしたりするなどの環境整備を実施している。今後もインクルーシブ教育の充実を目指し、市としても取り組んでいく。

議員

支援の必要な児童生徒のよりよい支援を進めるに当たって、校内委員会やカンファレンスに特別支援教育コーディネーターが関わり、チームとして子どもをサポートする体制が求められている。特別支援教育の人的配置は、まだ十分になされていない現状を実感する。イ

ンクルーシブ教育を推進するに当たり、特別支援教育コーディネーターを中心としたチームで運営していく校内体制の新たな充実が必要であると考えます。今後の取り組みについて伺う。

指導課長

毎年実施している特別支援教育に係る管理職向け研修においてチームで対応しサポートするなど、校内支援体制のさらなる充実に向けた内容を取り入れ、特別支援教育コーディネーターが十分な役割を果たせるよう、指導していきたい。

議員

学級担任の負担の軽減や、チーム力が生かされるよう、校長先生をはじめ管理職の先生方も一緒になつて十分な協議を行い、また、市の子どもたちがお互いのよさを認め合い、共生できる社会の構築のために、教員の確保をはじめ、医療や福祉の専門職による支援体制構築など、障がい児の受け入れ環境の整備に取り組み、さらなるインクルーシブ教育の推進をお願いします。



堀越 道男 議員

質問 会計年度任用職員の処遇改善について

答弁 期末手当、特別休暇や共済組合への移行がある

堀越議員の質問動画



議員 令和2年度に会計年度任用職員制度が導入されて3年目になるが、以前の臨時職員とどう変わったのか。

総務課長

新たに期末手当が支給され、夏期休暇のほかに療養、出産休暇等幅広い特別休暇が付与された。健康保険も、職員共済組合あるいは学校共済組合に移行した。

議員

期末手当はあるが勤勉手当はないようだが市の対応は。

総務課長

国の運用マニュアルには勤勉手当はないが、徳島県や京都府などから勤勉手当が支給できるよう提案され、総務省でも令和4年度末までに結論を出すと報道されているので、国の動きを注視していく。

議員

会計年度任用職員の契約期間と賃金について、10月に最低賃金が引き上げられたが、その対応と支給時期について伺う。

総務課長

契約期間については規則で4回

までは実績に基づき更新ができるとしており、6年目に試験または選考での任用となる。

賃金については11月30日に議決された条例によって時間給が922円になった。

議員

石岡市は10月にさかのぼっての支給と聞いているが当市の対応は。

総務課長

県内32市のうち16市が令和5年4月からだが、当市は水戸市、稲敷市と同様に令和5年1月からの支給となる。

議員

自治体の業務は、正職員によって行うことを原則としている。市民に安心して行政サービスを提供するためには正職員でこそだと思いが市の考えは。

総務課長

安心した行政サービス提供のためには一般職員の任用が必要と考えている。計画的に新規採用して人材確保を進めていくとともに適正な定員管理に努めていく。

【その他の質問】

★学校給食について



中村 博美 議員

質問

「地域のこれから」に多くの市民が参加できる組織作りを！

答弁

地域住民の方々との意見交換会を重ね組織作りにより全力で取り組む

中村議員の質問動画



議員

令和4年4月に立ち上げた「常総市地域コミュニティ基本指針」の意見交換会がスタートしたが、令和4年9月18日の大生地区、坂手地区の出席人数と意見交換会の実施方法とそその様子を問う。

市民生活部長

大生地区は小学生から70代までの15名、坂手地区は40代から80代までの23名の方が参加。実施方法は、武蔵野大学、淑徳大学から2名の教授を呼び「地域住民がまちづくりの主役であること、地域住民及び各種団体の繋がりの重要性について」の講演を行い「地域の関心ごと」及び「暮らしたいまち」をテーマにグループでの意見交換会を実施した。

その様子は和やかな雰囲気の中、大生地区では、住民同士の助け合いや繋がりの強化、情報を共有化する必要性、災害に強いまち、子育て環境の充実、飲食店等の充実、観光の促進等の意見があり、坂手地区では、地域住民同士の繋がりの強化、住みやすさや利便性の向上、イベントや公園の活性化、安

議員

全安心できれいなまち、外国人住民とのコミュニケーションの深め方等の意見があった。

また、今回の意見交換会を時期を空けずに継続してほしいとの要望が出た。

議員

地区により様々な意見が出ているが、参加者が少ないと思う。参加者が増えるよう創意工夫をしてほしい。また、ひとつの例だが、市の支援として、まちなかや道の駅を花でいっぱいにするために花の種や苗等の現物支給などを考えているか問う。

市民と共に考える課長

地域住民との意見交換会を重ねまずは地域運営組織の設立に全力で取り組む。

議員

情報の共有化との意見があるが、個人情報保護法との関連を問う。

市長

地域のために個人情報をおいかに守るかという部分も考えながら取り扱いも含めて前向きに検討する。意見交換会の参加人数が大変寂しい状況のため議員の協力も求む。



風野 芳之 議員

質問

多くの思いのある体育館・武道館の解体決定。その後の活用は

答弁

交流センター専用駐車場を整備新たな武道館の建設予定はない

風野議員の質問動画



議員

石下体育館、武道館の解体が決定された。解体後は、駐車場として整備するとしているが詳細について伺う。

教育部長

現在、解体工事に向け実施設計を行っている。今年度中には解体工事に着手予定である。解体後は、交流センターの専用駐車場として整備する計画であり、新たな武道館建設の予定はない。

議員

当市出身の鈴木桂治氏が監督を務める、柔道全日本代表チームの合宿地として受け入れの考えはあるか伺う。

教育部長

全柔連からの正式な要請はまだない。代表チーム合宿を受け入れるには、会場は石下総合体育館と考えるが、畳の確保等の課題がある。しかし、これが実現すれば、子どもたちや市民に夢の世界を提供できるので、前向きに検討したい。

議員

市民の方々も便利に利用している、地元野菜の販売所の対応はど

議員

既に移転については協議しており、一時移転先も検討するなか、整備後の出店場所についても他の店舗の出店も含め協議している。

議員

消防団員の操法訓練の場としての舗装された場所が必要かと思うがどのように考えているのか伺う。

教育部長

整備後の駐車場は、イベント広場としても視野に入れており、貸し出しは可能だが、交流センター専用駐車場との位置づけのため貸し出しには、調整・協議が必要となる。

議員

整備される駐車場と東側の公共用地が江連用水路で分断されている。現在の橋では、東西の往来に狭すぎる。拡幅を含め交渉を願う。

教育部長

整備することで往来が増えることが予想される。また、A1まちづくりの拠点となる場所でもあるため交通量や利用状況を確認しながら関係部署と協議していく。



岡野 一男 議員

質問
西幹線道路開通の波及効果
と今後の地域振興について

答弁
良好な交通アクセスにより、民間事業者の関心が高まっている

岡野議員の
質問動画



議員

西幹線の開通に相まって注目されている坂手・内守谷工業団地の将来をどのように考えているか。

都市建設部長

産業用地の創出は既存工業団地の拡張を含めた周辺での開発が最も効果的であると考える。

議員

産業用地の創出と並行して住宅団地の必要性は当然出てくると考えるがこの計画はあるか。

都市建設部長

新たなエリアの整備も検討する必要があると考える。

議員

坂東市から要望のあった当市内での道路整備について、その内容と市の方針を伺う。

都市建設部長

8月31日に坂東市長と市議会議長より、道路整備の要望書が提出された。その内容は圏央道・常磐道の広域ネットワークへのアクセス向上と一体的交通網の整備をお願いしたいというものである。

議員

当市と坂東市で一体的に交通体系の整備を進めるといふことか。

都市建設部長

交通体系の一体化は坂手地区での産業用地創出に寄与できるものであると考えている。

議員

坂東市の地域開発のために当市の税金を投入して道路整備をしていくのかという問題が起きると思うが当市の考えを伺う。

道路課長

坂手地区において将来的に企業立地のニーズが高まると予想されるため、道路事業については有意義であると考えている。

議員

令和4年6月の定例会議において坂手川又線について質問した。この路線と重なるのではないか。

都市建設部長

県道取手豊岡線まで道路を開通させれば、坂手川又線の一歩前進した形になるのではないかと認識している。

議員

この地域の土地利用計画を早急にまとめてほしい。



遠藤 章江 議員

質問
記念品よりも祝金が良い
との高齢者の声！

答弁
当面は現在の形で考えている

遠藤議員の
質問動画



議員

敬老祝金がなぜ廃止され、現在の記念品配布に至ったのか伺う。

福祉部長

平成3年3月、条例の改正に伴い市内に居住する高齢者に対し祝金として現金を給付してきた。しかし近年、高齢者施策全体の充実を図る必要が生じ、平成30年度をもって長寿をたたえる事業と統合し感謝状や記念品とした。

議員

現在配布されている祝品について、商品の選定から決定に至った経緯を伺う。

福祉部長

満88歳、満百歳、市内最高齢者に対し名産品詰合せセット、記念品等を贈呈している。本事業の趣旨に理解があり、かつ市内の名産品の詰合せセットを扱える団体と相談して内容を決定している。

議員

物価も高騰しており、少しでも良いから祝金が良いとの意見もある。名産品と記念品合わせて一人当たり予算いくらになるか。

議員

幸せ長寿課長
令和4年度は、米寿の記念品は合わせて5千円程度になる。

議員

下妻市が80歳の時に5千円、つくば市が77歳3千円、88歳1万円、百歳が3万円、守谷市は88歳が5千円、99歳が5千円、百歳以上が1万円、坂東市は77歳が1万円、88歳3万円、99歳5万円、百歳が褒状と祝金、つくばみらい市は88歳が1万円、百歳以上が3万円、こういった状況である。当市では毎年6千円ぐらい祝品に使っている。祝金に振り替えれば予算的に問題もなく、守谷市のように88歳5千円を出せないのか。

福祉部長

高齢者施策の見直しの一環として敬老祝金事業を廃止した。今後とも高齢者施策については、時代に即した事業方法を検討していく。

議員

今まで一生懸命納税をしてきた方に対して、一度廃止したものは戻せないということではなく今の世界情勢、物価高騰などを鑑みて再度検討してほしい。

議員



坂野 茂実 議員

質問

太陽光パネルと蓄電池の設置を進め『災害に強い常総市』づくりを！

答弁

ゼロカーボン推進室を中心に検討と取り組みを進めている

坂野議員の質問動画



議員

じょうそうエコオフィスプランとはどのようなものか。

保健衛生部長

庁舎内LED化やペーパーレス化、クールビズ、ウォームビズ、オンライン会議等により二酸化炭素の排出が削減され、基準年(平成28年)に対して3%の削減目標は達成している。また今年度より、常総市地球温暖化対策実行計画策定委員会を立ち上げて、全庁的にまた市民や企業と連携による取り組みを協議、検討している。

議員

市民が取り組むゼロカーボンへの活動にはどのようなものがあるか。

保健衛生部長

ゼロカーボンの実現に向けては行政、事業者、市民も含めて総参加で進めていくことが重要であると考え。具体的には、電気等のエネルギーを節約、転換する取り組みとしては、クールビズやウォームビズの実践、節電、省エネ家電の導入など。焼却エネルギーの削減の取り組みとしては、ごみの削

議員

減、再利用、再資源化の実践や食品ロスの削減、太陽光パネル、蓄電池つきの省エネ住宅の導入や二酸化炭素の少ない交通手段を選ぶことなど。当市としても、ゼロカーボンに向けて市民一人ひとりができることから取り組めるよう啓発していく。

議員

今後は、個人の家が発電所として家庭内の電気を賄える太陽光パネル、蓄電池つきの省エネ住宅の導入にぜひ目を向けていただきたい。

議員

電気料金の値上げが続くことで、新築家屋の太陽光発電の需要が高まることが予想され、パネルと蓄電池の設置で家庭においては電気料金の減額ができると同時に、災害等の停電にも対応できる。現在年間10件の補助上限を年間想定数の24件以上の受け付けを検討し、また、いつ何時発生するかわからない災害に対応するため、指定避難所等への太陽光パネルや蓄電池を設置し、万が一の際にも電気が使えるようセットでの活用を進めて欲しい。



茂田 信三 議員

質問

正常な議会答弁を望む

答弁

都合の悪いこと。答弁拒否

茂田議員の質問動画



議員

保健推進課長の虚偽答弁、隠ぺいの件で私の家と事務局へ許してはならぬことと、たくさんの電話があった。裾野市の件では、部長が更迭、市長が減給、それ程重大なことである。しっかりと謝罪しなければいけない。過去2回とも注意で済み、3回目も口頭注意とは誰も納得しない。

防災先進都市を掲げる当市の避難所は、ハザードマップで一番危険な地域交流センター、石下中学校、石下小学校を指定している。命を落とすに行くようである。なぜこのようなことをしたのか。私は以前にも何度か警告している。

市長公室長

発災当初、遠方への避難が困難な場合の短期的な避難を想定している。

議員

緊急避難で短期も長期もない。一階が浸水したら二階へ避難すれば良いと言っているがそれでは命の危険がある。7年前の水害の時は、地域交流センターの人は自衛隊に救出してもらったではないか。

議員

なぜその教訓を生かさないのか。水害当時の地域交流センターの状況は報告を受けている。

議員

豊田小学校も避難場所になっている。小貝川が決壊したら、命の保障がない。なぜそのような所を指定するのか、即刻訂正版を出すべきである。死亡事故が起きたら責任者は隠れて、責任を転嫁してしまうのか、一般社会では責任問題である。危険なところへ誘導して、それを正当化するのはいまずいことである。これでは防災先進都市ではない。

議員

自治区長の名称を有償ボランティアという呼び方はおかしい。ボランティアとは無償で代価を求めないことである。

市民生活部長

自治区長の立場に誤解を招くおそれがあり、今後は使用しない。

議員

議員定数削減の請願書において、自治区長等の方が定数削減について回覧板を回して、署名を集めるのはよくないことである。



大澤 清 議員

【質問】
北海道地区での居住を誘導する区域はどこか

【答弁】
市街化区域内の居住誘導区域及び区域指定集落へ誘導する

大澤議員の質問動画



議員
立地適正化計画に基づく届出制度の趣旨について伺う。

都市計画課長

計画的なまちづくりを進めるため、居住誘導区域外における開発行為や都市機能誘導区域外における誘導施設の立地、都市機能誘導区域における誘導施設の休廃止の動向を把握し、各種誘導区域に住宅や誘導施設の立地を促すものとなっている。

議員

この届出制度は、コンパクトシティアンドネットワークを確立誘導するためのものとは到底感じられない。また移住者を誘導するため、北海道地区での居住を誘導する区域はどこか尋ねる。

都市建設部長

既存市街化区域内の居住誘導区域及び市街化調整区域における区域指定集落へ誘導していく。

議員

当市は、市街化区域が元々少ないため、現状では区域指定を含むのは仕方ないことと思う。区域指定に移住者を誘導する問題として

【質問】
市街化調整区域の区域指定の拡大については、地元住民の意向、集落によっては縁のない者は入ってきてほしくないというところもある。資産価値についても市街化調整区域と市街化区域の差が縮まってきているので、そこは慎重に状況を見ながら検討していきたいと思う。

都市計画課長

具体的にはどのようなコンパクト化を行い、どのように公共交通でつなぐのか、市街地の開発等も含めた総合的な計画を拝見したい。市民が望むことは市街地の活性化と、自分の望む手段で移動ができ、利便性が高く、安心安全な生活を送ることだと考える。しっかりと市民に目を向けて計画をしていきたい。

議員

【その他の質問】
★ゴミのポイ捨てについて



佐藤 剛史 議員

【質問】
投票所の今後について

【答弁】
移動投票所や投票立会人など課題を整理し検討をすすめる

佐藤議員の質問動画



議員

各地区における高齢者の方の声として、徒歩等で行ける距離に投票所がなく投票に行きたいが行かなかった、もしくは今後行けないと考えているという声を聞く。投票したいのに行けない実態はとも残念であり、投票ができないと、まちづくりに対する思いも低下してしまうおそれがある。当市においては高齢者の方が自力で買物をすることが難しい地区に移動スーパを導入し好評をいただいているが、逆に言えばそれだけ自力で遠出することが難しい方が多い状況である。移動スーパの実績、どの地区に需要があるのかデータで分かっており、効率のいいルートも既に把握済みである。ぜひそれらを活用し、各地区の集会施設などをバスで巡回し投票を行っていただきたいが当市の考えは。

議員

現在市内では期日前投票所を4か所、当日投票所を各地区に35か所設置している。期日前投票所のうちの2か所については、バスを利用した移動投票所として、令和

総務課長

4年7月に行われた参議院議員選挙から商業施設内の駐車場に設置する運用方法をスタートさせ投票環境の向上に努めている。指摘いただいたバスを利用した移動期日前投票所に関しては、今後行われる複数投票の選挙にも対応が可能かどうかの検証を行い、各地区の集会施設などをバスで巡回して投票を行っていただく方法が導入できるように事務従事者や執行経費の確保、巡回場所の選定などの課題を整理し検討したい。

議員

投票立会人についても時間的な拘束による負担が大きい。例えば午前と午後に分けてやっていただく選択制にできないのか。

総務課長

投票時間を前半と後半に区切って職務を交代する方法は法令上も可能であり負担軽減に極めて有効である。一方で、人員の確保や非常勤特別職の報酬に関する条例の改正などいくつかのハードルが想定される。検討を進め交代制の導入が可能であれば令和5年の市議会議員選挙から制度を周知したい。

令和4年10月

随時会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第27号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第6号）	補正予算の増額 4億2,345万1,000円 補正予算後の総額 260億5,299万5,000円	可決

〈会議の欠席等の状況〉

10/25【本会議、議員全員協議会】（欠席）大澤清、喜見山明

令和4年12月

定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で14ページに掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第28号	常総市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	人事院から公務員給与の改定が勧告されたことを受け、当該人事院勧告に準拠して一般職に属する職員の給料の月額及び勤勉手当の率を改正するもの	可決
議案第29号	常総市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告に基づく一般職に属する職員の給与改定に準じて、市長等特別職に支給する期末手当の率を改正するもの	可決
議案第30号	工事請負変更契約の締結について	令和4年4月随時会議において議決を経た常総市（仮称）道の駅常総整備工事請負契約について、変更契約を締結するもの	可決
議案第31号	下妻地方広域事務組合規約の変更について	下妻地方広域事務組合規約で定める組合事務所の位置を変更することについて、同規約の変更に係る協議を行うため地方自治法の規定に基づき提出するもの	可決
議案第32号	常総市議会議員及び常総市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	公職選挙法施行令が改正され、国会議員の選挙における選挙運動用自動車等に係る公費負担の限度額が引き上げられたことから、市議会議員選挙及び市長選挙における公費負担の限度額を同様に引き上げる改正を行うもの	可決
議案第33号	地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例について	地方公務員法等の一部改正に伴い、常総市職員の定年等に関する条例を改正し、職員の定年年齢の引上げを行うとともに、常総市職員の給与に関する条例を改正し、定年の引上げに伴い60歳を超える職員の給料に係る特例措置等を定めるほか、関係する条例において規定の整備を行うもの	可決
議案第34号	常総市個人情報の保護に関する法律施行条例について	個人情報の保護に関する法律が改正され、地方公共団体が同法の適用対象となることに伴い、開示請求に係る手続その他同法の施行に必要な事項を定めるもの	可決
議案第35号	常総市行政不服審査会条例について	個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、本市が行った行政処分に係る審査請求に対し、実施機関の諮問に応じて調査審議を行う第三者機関の再編を図るもの	可決

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第36号	常総市斎場条例の一部を改正する条例について	常総市斎場に係る火葬室使用料の額を改めるもの	可決
議案第37号	常総市手数料条例の一部を改正する条例について	個人番号カードを利用して多機能端末機で住民票の写し等の証明書を取得する場合における証明書交付手数料の額を定めるもの	可決
議案第38号	常総市立学校設置に関する条例の一部を改正する条例について	小中学校の適正配置実施計画に基づき大花羽小学校と菅原小学校の統合を行うもの	可決
議案第39号	指定管理者の指定について	放課後児童健全育成事業を行う市内11箇所の児童クラブにおける指定管理者として、株式会社明日葉を指定するもの	可決
議案第40号	財産の取得に係る議決事項の変更について	令和4年9月定例会議において議決を経た小中学校教育用大型掲示装置等の取得について、その数量及び取得金額を変更するもの	可決
議案第41号	市道の路線の変更について	篠山地内の路線について、その一部が道路としての機能を喪失し、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、当該路線の終点の位置を変更するもの	可決
議案第42号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第7号）	補正予算の増額分 6億8,424万4,000円 補正予算後の総額 267億3,723万9,000円	可決
議案第43号	令和4年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 3,763万円 補正予算後の総額 68億752万5,000円	可決
議案第44号	令和4年度常総市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 200万円 補正予算後の総額 14億3,809万円	可決
議案第45号	令和4年度常総市介護保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算の増額分 7,516万7,000円 補正予算後の総額 55億7,643万円	可決
議案第46号	令和4年度常総市下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入は、一般会計からの補助金を増額し、支出においては、原油価格高騰の影響による光熱水費の増額などを計上した 資本的収入は、出資金の減額や受益者負担金の増額を計上し、支出においては、人件費を計上した	可決
議案第47号	令和4年度常総市一般会計補正予算（第8号）	補正予算の増額分 1億8,262万6,000円 補正予算後の総額 269億1,986万5,000円	可決
議案第48号	常総市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和4年12月31日をもって任期満了となることから、新たに秋田敏雄氏を任命するもの	同意
議案第49号	常総市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	常総市議会議員定数について議会運営における現状と度重なる市民からの要望を踏まえ現行の議員定数22名から2名を削減した20名が妥当と判断したため、提案するもの	可決
請願第2号	常総市議会議員定数削減に関する請願	人口比率に対し議員定数が多いこと、市の財政状況などを考慮し、定数削減を行い誠の少数精鋭により議論する無駄のない議会にするため、議員定数削減を速やかに実施するよう求めるもの	採択

議案番号	議案名	内容	審議結果
陳情第2号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情	「消費税インボイス制度の実施を中止することを求める意見書」を国へ提出することを求めるもの	不採択
議決事件	議員定数調査特別委員会の設置期間の延期について	常総市議会議員定数削減に関する請願書の審査について、結論を出すにはさらなる審議を必要とするため、特別委員会設置期間の12月31日を令和5年3月定例会最終日まで延期を求めるもの	否決

〈会議の欠席等の状況〉

11/30 【本会議、議員全員協議会】(遅参)茂田信三

12/6 【本会議】(遅参)水野昇、堀越道男

12/13 【常任委員会】(遅参)大澤清

令和4年12月

定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。○:賛成 ×:反対 棄:棄権

議案番号	未来							令明会							共産党	会派所属無し				
	広瀬光一	飯島忠	坂野茂実	小林剛	中村博美	風野芳之	中村安雄	佐藤剛史	柳井真吾	石塚剛	草間典夫	吉原晴照	倉持守	坂巻文夫	堀越道男	大澤清	遠藤章江	岡野一男	茂田信三	水野昇
議案第30号	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
議案第49号	○	○	×	×	○	×	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
請願第2号	○	○	×	×	○	×	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
陳情第2号	×	○	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○
議決事件	×	×	○	○	×	○	※	×	×	×	×	×	×	×	○	棄	棄	○	○	棄

※議長は採決に加わらない



令和5年1月15日、三重県桑名市において『第3回大河ドラマ「千姫」誘致の会』が開催されました。誘致の会は、常総市、桑名市（三重県）、姫路市（兵庫県）の3市に加え、令和4年11月には岡山県岡山市が、令和5年1月には東京都文京区（今回欠席）が新たに誘致の会へ加わり、千姫ゆかりの自治体の長及び議会議員が参加し、各市の活動報告を行うとともにNHKへの要望へ向けた連携を確認しました。

今後大河ドラマの誘致に向けて精力的に活動していきますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第3回大河ドラマ「千姫」

誘致の会に参加

議員定数調査特別委員会

9月定例会議に提出された請願を受け、議員定数調査特別委員会（以下、特別委員会）が設置され、本請願について慎重に審議を重ねました。

請願の内容

「常総市議会議員定数削減に関する請願書」

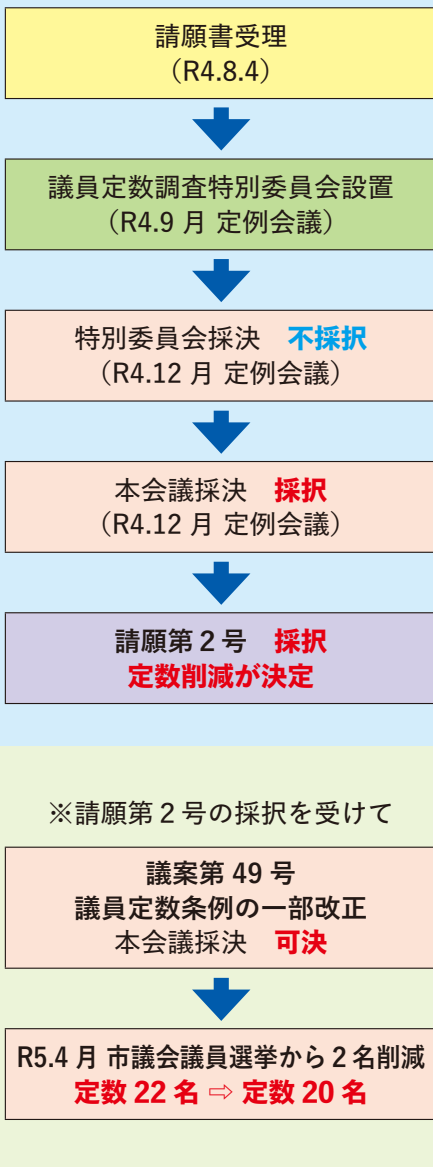
【署名人数】

11, 108人

【請願の主旨】

市議会議員の定数について、他市と比較して当市の議員定数が多いことや、財政状況を鑑みて、令和5年4月の市議会議員選挙より2名から4名の議員定数削減を求めるもの。

【定数削減までの流れ】



【特別委員会での意見 ※一部抜粋】

反対

- 市民の意見を拾い上げる力の低下。
- 執行部と渡り合うには22名は妥当な数である。
- 市民サービスを維持するためにも現定数は必要。

賛成

- 定数は22名だが、現状20名で議会を運営していることも鑑みるべき。
- 近隣市町村の状況をもみても削減を検討すべき。
- 署名者の意思も無視できない。

【特別委員会での結論】

賛成少数により**不採択**（定数変更なし）

【本会議での結果】

特別委員会での結果を受け、本会議で請願について採決した結果、賛成多数により**採択**（定数削減）

本会議での結果を受け、議会運営の現状と、市民からの要望を踏まえ、2名を削減した20名が妥当と判断し、2名削減の条例改正を行うこととなりました。

草間典夫議員が提出者（12名の議員が賛同）となり、条例改正の議案が提出され、可決されました。

令和5年4月の選挙から

市議会議員の定数が20名に！

喜見山議員の逝去について

喜見山明議員（71歳）が令和4年11月9日、御逝去されました。

12月定例会議初日の本会議では、全員で黙祷を捧げ、その後、堀越道男議員から追悼の言葉が読み上げられました。

喜見山明議員は平成3年に初当選してから7期27年にわたり旧水海道市・常総市議会議員として市政の進展に活躍されました。

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



黙祷の様子

常総橋百景

第九景

常総橋

撮影地

常総市
箕輪町



投稿者
佐藤 博久様

箕輪町とつくば
みらい市を結ぶ常
総橋（昭和56年竣
工）

水位が上昇する
と通行止めになり
通称沈下橋と呼ば
れています。

常総橋百景
写真募集中!!

「かけはし」では、
あなたが撮影した常
総市の橋百景を募集
しています。撮影写
真、撮影地、お名前
メッセージ（100
文字程度）を添えて
左記の住所までご応
募ください。なお、
応募いただいた写真
は返却いたしません
ので、あらかじめご
了承ください。

【議会事務局】

〒303-8501

常総市水海道諏訪町

3222-13

☎0297(2)0318

3月 定例会議(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			本会議 議員全員 協議会			
5	6	7	8	9	10	11
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問 議案質疑)	
12	13	14	15	16	17	18
	予算特別 委員会	予算特別 委員会	予算特別 委員会	常任委員会	常任委員会	
19	20	21	22	23	24	25
	常任委員会			予算特別委員会 議員全員協議会 本会議		

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



WEB



議長のごひとこと



新型コロナウイルス
第8波による
感染者増
加の心配も
ありますが、
外国人の入国制限緩和や行事・
イベント開催など、様々な面
で少しずつ以前の状況に戻り
つつあります。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻の影響による原油をはじめとした様々な物の値段が上がり、当市にとっても大きな課題となっております。3月定例会議では、市民に直結した事業の新年度予算審議がなされますので、当市議会に注目してください。

さて今年4月には、市議会議員選挙が予定されております。前回の12月定例会議で「常総市議会議員定数を定める条例」の改正があり、2人減の定数20人となりました。令和5年4月の選挙から適用される新たな市議会となり、当市が素晴らしいまちになるよう活動して参りますのでよろしくお願いたします。

常総市議会議長
中村 安雄

かけはし 広報委員会

委員長：岡野 一男
副委員長：石塚 剛夫
委員：草間 典夫
佐藤 剛史
広瀬 光一
坂野 茂実
飯島 忠
柳井 真吾